

# 地域再生計画

## 汚水処理施設整備交付金

### 「おだわらルネッサンス・環境共生都市計画」

## 事後評価

かながわけん おだわらし  
神奈川県 小田原市

平成28年1月

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調書

都道府県名	神奈川県	事業実施主体	小田原市	地域再生計画名	おだわらルネッサンス・環境共生都市計画
計画期間	平成17年度～平成19年度				

	指標		基準値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
				基準年度		基準年度			最終実績
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	酒匂川へのコアジサシ飛来を促し営巣を誘導する	130羽	H16	-	H19	220羽	○	従前値から90羽飛来数が増加となり、目標を達成することが出来た。
	指標 2	污水処理人口普及率を76.2%から78.6%に向上を図る	76.2%	H16	78.6%	H19	82.6%	○	従前値から6.4%污水処理人口普及率が増加となり、目標を達成することが出来た。
	指標 3	みなとまつり来場者を45,000人から52,500人に増加を図る	45,000人	H16	52,500人	H19	45,000人	△	従前値と同数の来場者数となり、目標の達成にはいたらなかった。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1								
	指標 2								
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）		事業の進捗状況に関する評価				
			計画	最終実績					
特別措置を適用して行う事業	公共下水道整備事業		2,433m	2,121m	・計画値の達成にはいたらなかったが、公共下水道の整備延長が2,121m増加したことにより、生活環境の改善や公衆衛生の確保を図る事が出来た。				
	個人設置型浄化槽設置事業		10基	9基	・個人設置型ということもあり、計画値の達成にはいたらなかったが、生活環境の改善や公衆衛生の確保を図る事が出来た。				
その他の事業	河川環境整備事業		市民参加による河川清掃、親水護岸の整備		・毎年5月には酒匂川の一斉清掃「クリーンさかわ」、6月には「山王川・久野川一斉清掃」を市民・協力企業などと共同で実施し、環境保全や良質な河川環境の維持のための啓発活動を行っている。 ・桑原地内で自然環境に配慮した親水護岸整備を行っており、身近に自然を感じる事が出来るようにした。				
	水質保全事業		河川・海域の監視調査		・毎年「小田原かんきょう白書」を作成し、環境基本計画や環境政策・大気汚染・水質汚濁・ダイオキシン類・騒音振動・悪臭・土壌汚染の概況等を公表した。 ・対象の多量排水事業場について、年数回の排水の採水を行い水質検査を実施しており、適正な排水をしているか調査をすることで公共水域の保全に努めている。 ・公共用水域の水質は、酒匂川河口部付近のBODが平成16年度には5.7ppmであったものが、平成19年度には3.8ppmと改善されており、今後も公共用水域の水質保全に寄与する生活排水対策に取り組んでいく。				
	水源の森づくり事業		市民参加による広葉樹の植栽等の保育管理、水源地域の森林の枝打ち等		・「ふるさとの森づくり運動」事業を実施している。この事業は、幅広く市民に参加を募り、広葉樹の苗木を植林し、森林体験を通じ森林の保育や自然を身近に感じることで、環境保全・啓発の普及を促進させる。また、広葉樹は水源涵養機能も注目されており、良質な水源の森の環境保全に寄与している。				
	野生動植物保護事業		コアジサシの郷づくり、ビオトープ整備、野生鳥獣に関する啓発等		・生物の生息環境の保全と再生に向けて、「酒匂川水系のメダカ」の保護のためメダカのお父さんお母さん制度、有害鳥獣の対策を行った。 ・コアジサシの郷づくりの一環として屋上人工営巣地整備や、コアジサシの保護のため営巣地に近づかない旨の周知の看板の設置、市民を対象にした「コアジサシの学習会」や「コアジサシの観察会（コアジサシのヒナまつり）」など自然観察会の開催を通じた環境教育を行っており、今後も豊かな自然を身近に感じる事が出来るよう、生物多様性に努めるとともに環境保全の普及啓発に取り組んでいく。				
	ふれあい漁業推進事業		小田原みなとまつり開催		・水産関係者と市民との交流を促進するため、毎年8月に「小田原みなとまつり」を開催して水産業に対する知識と理解を深める取り組みを行っており、今後も水産業の振興や発展を図るため実施していく。				
④事後評価の公表方法	小田原市ホームページに掲載								
⑤計画全体の総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・污水処理人口普及率については、污水処理施設の整備を効率的に実施したことにより、目標を達成することが出来た。</li> <li>・コアジサシについては、従前値を上回る飛来数を確認し、目標を達成することが出来た。</li> <li>・みなとまつりについては、目標の達成にはいたらなかったものの、平成17、18年度に比べて来場者数が平成19年度は増加しており、一定の成果はあったと考えられる。</li> </ul>								
⑥今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・污水処理施設の効果的・効率的な整備を行ない、生活環境の改善、公衆衛生の確保、また、公共用水域の水質保全を図りながら、地域再生計画で目標としている、「環境にやさしいまち」、「個性豊かで快適な住環境」、「環境や暮らしと調和した地域産業の振興へ貢献」の実現に向けて取り組んでいく。</li> </ul>								